

家庭と女性技術者の両立を目指して



工事部 軽部 秀子



今年、一歳半になる男の子がいます。外で遊ぶことが大好きで一緒に遊ぶと私が疲れてしまうほど「やんちゃ!!」ですが、笑いの絶えない楽しい毎日を過ごしています。仕事の日には朝早く起床し、朝食の準備をした後、掃除・洗濯が終わり、子供を預けてから会社に行き、夜は、子供が寝るまで家族とのコミュニケーションを、毎



生まれ育ったこの地において、地域の皆様の生活を支える道路・河川などの生活基盤のインフラ整備は、とても大切であることを日々想いながら、加えて、女性目線ならではの環境を遂行し、笑顔あふれる子供達の未来のために、形を残すことができる感動づくりをしていきたいと思っています。



母として～やんちゃな子どもと一緒に散歩

建設工事のご相談は、お近くの建設業協会各支部にお気軽にお問い合わせください。



一般社団法人 **栃木県建設業協会**

〒321-0933 栃木県宇都宮市築瀬町1958-1

TEL.028-639-2611(代) FAX.028-639-2985 URL <http://www.tochiken.or.jp/>

- 塩谷支部／TEL.0287-43-0142
- 那須支部／TEL.0287-22-2124
- 烏山支部／TEL.0287-82-3161
- 安蘇支部／TEL.0283-24-3838
- 足利支部／TEL.0284-71-0044



vol.
13
—
May
2018

◆発行／一般社団法人栃木県建設業協会 会長 渡邊 勇雄
<http://www.tochiken.or.jp>

◆ 発行人／広報委員長 岩原正樹

◆編集・デザイン／藤崎印刷(株)

**地域の
守り手**

特集① (一社) 栃木県建設業協会・座談会～誇りを持って!!
 特集② 高校生の感想～座談会の新聞記事を読んで!!
 特集③ 大雪時の会員企業の除雪活動

■ 本当は教えたくない 「女性にも人気のグルメスポット」
■ 輝く女性たち 「家庭と女性技術者の両立を目指して」



この情報紙は  一般社団法人 **栃木県建設業協会** がお届けしています

「地域の守り手」



「地域の守り手」について語った県建設業協会の座談会出席者

近年、全国各地で地震や異常気象による自然災害が頻発しています。比較的災害が少ない本県でも平成27年9月に発生した「関東・東北豪雨」は、各地に甚大な被害を与えました。災害時に一番に現場に駆けつけて、迅速な応急・復旧活動を行う地方の建設業者の活動は近年必要不可欠となっています。地方建設業者が「地域の守り手」として住民から頼られ、必要とされているのです。「関東・東北豪雨」でも、災害復旧活動に栃木県建設業協会に加盟する建設業者の皆さんが活躍されました。今回各社の若手技術者による座談会を開催し、関東・東北豪雨の時の対応や「地域の守り手」として期待されていることについて、率直に語ってもらいました。

(企画・制作 下野新聞社営業局)

■座談会出席者

宇都宮支部	(株)千葉建設	田嶋 雄介 氏
鹿沼支部	機械建設(株)	荒川勇太郎 氏
	神谷建設(株)	磯田 悠希 氏
日光支部	(株)松本建設	松本 俊哉 氏
	東武道路工業(株)	古屋 新二 氏
下都賀支部	佐藤工業(株)	成田 楓 氏

広報委員会	委員長	岩原 正樹
	副委員長	吉田 亘
	副委員長	上野 勝弘

快適で安全なまちづくり



岩原正樹 委員長

■岩原 近年、全国各地で地震や異常気象による自然災害が発生し、本県でも平成27年9月の「関東・東北豪雨」では甚大な被害を受けました。私たち地方の建設業者が「地域の守り手」として住民から頼られ、必要とされる時です。社会資本の整備や防災・減災対策などその役割はますますクローズアップされています。しかし、建設業界では少子高齢化、団塊世代の大量

退職などで担い手の確保・育成が喫緊の課題となっています。

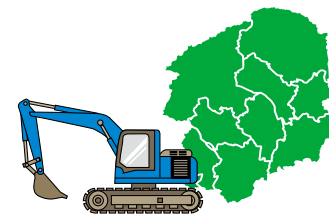
一自己紹介と業界に入ったきっかけ、やりがいなどを教えてください。

■田嶋 宇都宮支部の千葉建設で道路維持管理を担当している田嶋雄介です。自ら作業したことが人々のためになることにやりがいを感じています。今以上に知識や技術を向上させて快適な道路環境づくりに貢献していきたいです。



千葉建設 田嶋雄介氏

誇りを持って!!



地域の安全安心へ役割重要



一般社団法人 栃木県建設業協会
会長 渡邊 勇雄

建設産業は、安全・安心で快適な暮らしに直結する道路・河川などの整備・維持管理や、教育文化・産業施設など地域の発展につながる社会資本の整備を通じ、住民生活の向上を担う地域に欠かせない産業です。

また、災害時には技術力や人材・資機材等を活用し、行政に協力して応急・復旧活動や救助に協力する『地域の守り手』として大変重要な役割を担っています。地域社会を支えるその大きな使命は、地震や異常気象における豪雨災害への迅速な対応など、改めてその重要性が再認識されています。

しかしながら、建設業の次世代の担い手と期待される土木・建築学科卒業生等が減少しており、若手への技術・技能承継は大きな課題となっています。

本会といたしましては、『地域の守り手』をテーマとした座談会を通じ、災害時における現場の初動対応から復旧作業に至るまでの活動の様子から、活力と魅力あふれた建設産業の姿が次世代を担う若者達に共感を促し、故郷（ふるさと）の建設業への入職促進に繋がるよう期待しております。

明日（11月18日）は、『土木の日』です。あらためて、土木の仕事は快適で豊かな街づくりはもちろん、災害対応など幅広く生活に密着しており、私たち建設業従事者は誇りと自負を持って取り組んでおりますことをご理解ください。

結びに、この度の企画特集に際して、公益財団法人建設業福祉共済団の全面的なご支援を頂き深く感謝申し上げます。

若者に選ばれる魅力ある建設業



栃木県県土整備部
部長 江連 隆信 氏

平成27年9月の関東・東北豪雨では、建設業の皆様には、極めて厳しい状況の中で迅速な対応をして頂き、おかげさまで復旧工事が無事に完了できましたこと、深く感謝と御礼を申し上げます。

さて、建設業は、社会資本の整備や保全を担う産業として、地域の経済と雇用を支えるとともに、災害時には初動対応から復旧作業に至るまで、現場の最前線で社会の安全・安心を確保する役割を担っています。

一方で、少子高齢化社会が進展する中、「きつい・汚い・危険」の3Kをイメージする建設業は入職者が減少し、将来の担い手不足が懸念されています。

このため、県では、県土整備の総合的な指針である「県土づくりプラン2016」において、「次世代の県土を支える人づくり・協働」を重点取組に掲げ、建設業の担い手の確保・育成に繋がる取組みを進めています。

まずは、建設現場における「生産性の向上」と「働き方改革」を推進するため、ICT技術を活用した土工事や週休2日制モデル工事を開始したところ です。

こうした取組みにより、「高い給与と長い休暇で希望が持てる」新3Kを実現し、若者に選ばれる魅力ある建設業を目指します。

県ではこれからも、「地域の守り手」として県民に期待され、将来にわたり必要とされる建設業の支援に努めて参ります。

将来に期待される建設業



神谷建設 磯田悠希氏

■荒川 鹿沼支部の機械建設で土木施工管理業務全般を担当している荒川勇太郎です。現場では大変なことも多いですが、現場が少しずつ出来上がって、完成したときの達成感にはやりがいを感じます。利用者や地域の方々より近

い位置で仕事を携わることができます。作ったものがずっと残る仕事なので、より良いものをつくっていきたいです。

■磯田 同じく鹿沼支部の神谷建設で土木現場の施工管理業務全般を担当している磯田悠希です。平成29年9月までは鹿沼市内の道路改良工事の現場代理人の職務についていました。普段なにげなく通っている道路や橋などは、あって当たり前のものと思いがちですが、その裏ではたくさん



土砂で覆われたライフライン確保作業（宇都宮市 古賀志町地内）



現場に土を搬入するために仮設道路を設置（壬生町 姿川 淀橋下）



護岸復旧作業前の災害状況を確認（鹿沼市 黒川 御成橋）



大雨で洗堀された川岸に連結ブロックを布設（日光市 田川）

地域から今、必要とされる時



松本建設 松本俊哉氏

の苦労や努力をして作っています。そんな縁の下の力持ち的なところにやりがいを感じています。これからも良いものを作り、人々から感謝される、そんな仕事をしていきたいです。

■松本 日光支部の松本建設で土木工事の現場代理人補佐を担当している松本俊哉です。ものづくりの仕組みや楽しさにやりがいを感じます。若いうちにたくさんの経験を積み、これからの建設業界を盛り上げていけたらと思っています。

■古屋 同じく日光支部、東武道路工業の古屋新二です。現在は鹿沼市栗野地内で舗装修繕工事を担当しています。監督を務めていて感じたことは、作ったものが完成した時には達成感が得られます。そこにやりがいを感じます。

■成田 下都賀支部の佐藤工業で監督業務全般を担当する成田楓です。関東・東北豪雨の時、私はこの業界1年生で、右も左も分からない状態でしたが、災害復旧の現場を担当させていただき、達成感とやりがいを感じました。

安心して暮らせるために

一災害時の迅速な応急・復旧活動を行う地方の建設業界は今、「地域の守り手」として期待が高まっています。そのことをどう受け止めていますか。また若い世代を建設業にとって魅力ある建設業界とするにはどうすればよいですか。

■田嶋 「地域の守り手」と呼ばれることは光栄です。期待に応えられるよう日々努力をしていこうと心掛けています。若い世代を引きつけるには子どものころから親しみを持てるような活動をするのが重要ではないでしょうか。

■荒川 地域の方々の暮らし



機械建設 荒川勇太郎氏

を支える仕事として、とても責任を感じます。責任感を持って仕事をした結果、「地域の守り手」として貢献できればうれしく思います。建設業の仕事がインターネットの動画配信サービスでも簡単に見ることができます。そうしたものを利用してはどうでしょうか。

■磯田 自分たちが地域の役に立てることはとてもありがたい事だと思います。同時に建設業の仕事の内容や重要性をもっと多くの人に知ってもらいたいです。特に子どもたちには小さい頃から仕事のやりがいと楽しさを知ってもらい、将来の若手技術者として増えていければ良いと感じます。そのためにも私たちが改善するべきところは改善していかなくてはならないと思います。

■松本 「地域の守り手」として期待されていることは、光栄なことです。私は消防団としても活動しています。これからも両面で「地域の守り手」として日々活動していきたいと思っています。SNSなどを使って建設業の素晴らしさを伝えていくのが良いのではないのでしょうか。

■古屋 企業として努力することが将来、重要視されると思います。そうなれば若手技術者も増えると思います。給与と休暇など、待遇面での改善も必要ではないのでしょうか。

■成田 私は初めに姿川にかかる淀橋の堤防が流されてしまった現場に行きとても衝撃を受けました。それは収穫間際の稲穂が砂利や砂に埋もれ、一生懸命育てたものが一瞬でなくなってしまったことです。地元の人がとてもショックを受けていました。こうした災害が発生した時は迅速に対応し、丁寧で確実な作業を行わなければなりません。地域の皆さんがより住みやすく安心して暮らせるようにすることが私たち建設業の立ち位置だと思います。

一皆さんのお話を聞いて地元の方々も安心して地域で暮



東武道路工業 古屋新二氏



佐藤工業 成田楓氏

らせると再認識されたことと思います。高い使命感を持って現場で作業をされているということが良く分かりました。

災害復旧活動に尽力

一平成27年9月の「関東・東北豪雨」で、皆さんは応急・復旧活動に尽力されました。その時の対応について、お聞かせください。

■成田 姿川の河川土工事で大型土のうや仮設道路を作りました。工期は9月11日から10月23日でした。堤防復旧の現場で、東武鉄道の橋脚が流されたところで、鉄道復旧に合わせて早く完了させるというプレッシャーがありました。対岸は田んぼでしたが、地主さんの協力で搬入口を作ることができたことは、今も感謝しています。搬入口や現場も二次災害がなく工期内に終わりました。

■古屋 日光市内は、台風による大雨で田んぼの土手が崩落し、復旧工事を行いました。土砂で埋もれたU型水路を布設替えし、崩落した法面を補強した後、大雨で流出した土砂を法面整形に利用するなどの方法を取り入れました。

■松本 田川で崩壊した川岸を連結ブロックで覆い護岸復旧する作業や流木撤去を行いました。ちょうど、田植え時期と重なり時間帯で変化する水量に対応した水替え作業は慎重を期しました。また、重機の移動や資材を置くスペースの制限にはとても苦勞しました。



上野勝弘 副委員長



崩落した法面補強で流出した土砂を利用（日光市 岩崎地内）

■磯田 鹿沼市の黒川で工事を行いました。鹿沼市御成橋上流部は台風の影響で河川が氾濫し、護岸が洗堀され人家が流されるなどの被害が出ました。工期は9月13日から30日でした。被災箇所まで行く道路がなかったのでまず仮設道路を作り、その後、大型土のう約1,000袋を製作・設置しました。また、根固めブロック約150個を設置し、休日返上で作業を完了後、地元の方々から感謝の言葉を頂きました。

■荒川 鹿沼市奈佐原町で黒川の河川掘削工事を行いました。工期は約5か月間で、河川の中にある竹、木、土砂を取るという工事でした。

■田嶋 豪雨発生時から道路パトロール、通行止めの措置、通行車両への説明などを行いました。豪雨終了時は円滑な交通解放に向けての土砂撤去などをしました。工期は9月9日から10月6日でした。

一最後に吉田、上野両副委員長、岩原委員長、一言ずつお願いします。

■吉田 「地域の守り手」として自分がやらなければという使命感を持って取り組んでいる事を心強く感じました。皆さんの活動にこれからも期待します。

■上野 皆さんの本音を聞くことができ私も感じるころがありました。社会資本の整備は地味で、苦勞も多いですが、自らの生業（なりわい）に自信と誇りを持ち、積極的に発信してください。

■岩原 皆さんのお話を聞いて「地域の守り手」としての意識が良く伝わってきました。今後も活躍してください。



吉田亘 副委員長



河床に根固めブロックを布設（鹿沼市 行川）

座談会の新聞記事を読んだ 栃木県内各工業高校等の

生徒の感想

1049名が読んだ!!

平成27年9月の「関東・東北豪雨」時、災害応急・復旧活動に尽力した若手技術者を対象とした座談会を、土木の日（11月18日）の前日、下野新聞に掲載いたしました。未来を担う県内各工業高校等の生徒さんに企画特集記事をご覧いただき、率直な気持ちを受け取りました。



平成29年11月17日下野新聞掲載

宇都宮工業高等学校 環境土木科



建設業は改めて **人が暮らす町の手助け** になっている事を知り、とてもありがたいと思った。

建設業は **今も未来も欠かせない仕事** だと思った。将来このような仕事に就くので、誇りを持って仕事をしていきたいと思う。



宇都宮工業高等学校 建築デザイン科



これからは私も一人の「地域の守り手」として住民から頼られ、**必要とされる担い手になりたい** と思った。

私もこの建設業の方々のように建設業を通して **地域の発展に貢献** していけるよう、努力していきたいと思う。

那須清峰高等学校 建設工学科



今後、**建設業の給料や休暇などが改善** されることになれば、建設業は人気の職種になると思う。

建設業は今、若い世代が減少しており自分たちのような **若い世代が技能・知識を身につけ** 地域を少しでも支えられるよう頑張りたいと思った。



真岡工業高等学校 建設科



土木の仕事は道路などをつくるだけでなく、**災害復旧活動** も行っていて、とても重要な仕事だと思った。

真岡工業高校の **卒業生が地域のために活躍** していることが分かり、建設業に魅力を感じた。



今市工業高等学校 建設工学科



国民の安心・快適な生活にあたっての縁の下の力持ち的な立場で、目立つ様なことはあまりないけど、もっと **スポットライトを浴びるべき職業**

自分がしている仕事は、必ず誰かの役に立っている。ためになっているという **誇りを持つこと** だと思う。



栃木農業高等学校 農業土木科



自然災害が頻発する中で、**災害時に即座に現場に駆けつけて復旧活動** をしているのが土木なのだと初めて知った。

土木という仕事は **全ての人に安全と快適性** を提供する誇り高い仕事だとあらためて感じる事ができた。



大雪時の「地域の守り手」

栃木県建設業協会 10支部の除雪対応

栃木県では平成30年1月22日昼前から23日未明にかけて雪が降り、大雪となった。
最深積雪は宇都宮で22日23時00分に27cmを観測した。

除雪隊出動式

例年、降雪シーズンを前に道路除雪隊の出動式を行い安全作業の徹底と地域の生活を支えるために、士気高揚を図ります。



皆さんの声



■宇都宮市在住 ガソリンスタンド経営 長倉 等さん

今年の1月の大雪は宇都宮としては4年ぶり
と記憶していますが、幹線道路もかなりの降雪
で次の日の営業が心配されました。真夜中に重
機で道路の除雪をしてもらったおかげで、大き
な混乱がなく営業をすることができました。
4年前の大雪の時よりも対応が良く、その教
訓が生かされていると感じました。

除雪作業は建設業協会の会員企業が実施してくれたと聞き、
大変ありがたく思うとともに、今後も我々地域住民の生活の利
便性ができるだけ確保されるよう力を貸してもらえるとありが
たいです。



■日光市在住 会社員 斉藤 富江さん

深夜及び早朝から除雪作業に携わってい
る建設業の方々には、いつも感謝していま
す。私が住んでいる日光地域は、降雪量も
多く気温も低い為、路面凍結も頻繁に発生
します。そこで、連日いち早く出動して頂
いているので、安心して車を走らせる事が
出来ています。地域に密着している建設業の方達なので、危
険な箇所を把握している為、安全に運転する事が出来ていま
す。本当に感謝しています。

地域の暮らしを支えて頂いている事、これからも続いてい
きますように願っています。本当にありがとうございます。



■下野市在住 医師 鳥海 進一さん

早朝、深夜の職場への行き帰りに除雪作
業をしている光景を目にし、県や市役所の方
がやってくれていると思っていましたが、
地域の建設業の方が対応してくれていると
のことを聞きました。

私の住む県南地域は降雪が少ないため、
大雪時には道路での混乱が発生しがちですが、地元の道路を
熟知した建設業の方の素早く、正確な対応で普段の生活が送
れることに感謝しています。

これからも地域住民の暮らしを守るために、頑張っ
て頂きたいと思っています。



除雪隊事務所内待機

道路の除雪作業は、安全で円滑な交通を確保するうえで大変重要なことから、綿密な作業プランを立てます。



地元に根付く 栃建協 本当は教えたくない女性



まんぷく食堂

住 那須郡那珂川町馬頭436 **営** 昼 11:00~13:30
TEL 0287-92-2555 **夜** 16:00~20:00
休 不定休



創業から50年、那珂川町馬頭の商店街で長きに渡り営業している「まんぷく食堂」。創業当時の変わらぬ味わいを提供しています。こちらのおすすめメニューは、地元の人に愛され続ける「まんぷく焼きそば」500円。一口頬張れば、どこか懐かしさを感じる味と香り。昔ながらのソース焼きそばを、ぜひご賞味ください。



名前のとおり
「まんぷく」
になりますよ〜



鈴木建設(株) 鈴木雅仁さん

会員行きつけの にも人気のグルメスポット



ぶどうパンには
やみつぎです。



(株)高久組 高久秀将さん



ますやパン店

住 那須郡那須町寺子丙3 **営** 8:00~18:30
TEL 0287-72-0130 **休** 日曜日



那須町の黒田原駅から徒歩5分、リニューアルした店内には、人気のマーブルパン、ぶどうパン、生クリーム入りアンパンをはじめ、たくさんのお惣菜パンや菓子パンが並んでいます。この道50年のご主人が、海洋酵母を長時間低温発酵させマイルドな香りに焼き上げています。お好みでジャム、あんこ、ピーナツ等カスタム塗りもしていただけます。昔から地元の人に愛され、一度食べたらずりりピーターになる美味しいパン屋さんです。

ロコモコ 980円



ポークソテー 1,490円



ボリューム
満点な
コースも
あります！



(株)岡工務店 岡恒夫さん

TABI CAFE

住 那須烏山市田野倉13-5 **営** 11:30~20:30
TEL 0287-82-7979
休 無休
HP <http://tabicafe.jp/>



2016年12月に那須烏山市にオープンしたおしゃれなカフェです。おすすめは、栃木のブランド豚「あさのポーク」を使用したポークソテー1,490円(税込)です。300gとボリュームがありますが、お肉の旨みとガーリックオニオンソースの相性が抜群でべろりと食べられる一品です。また、十五穀米付なのでヘルシーなところも嬉しいポイントです。他にもお肉がジューシーなロコモコ980円(税込)やジャードリンク700円(税込)があります。田舎にあるとは思えない、おしゃれな空間でおいしい食事と飲み物でゆったり過ごしたくなるカフェです。



いつも
BGMにユーミンが
かかっており、
ついつい
飲みすぎて
しまいます。



(株)阿久津土建 阿久津亮さん

やきとりや

住 真岡市並木町2-7-12 **営** 17:00~23:00 (L.O.)
TEL 0285-85-8058
休 水曜日



焼き物とお酒の種類が豊富、そしてリーズナブルに楽しめる人気のお店。特に炭火で焼いた焼き鳥、レバーにアスパラ巻き、厚揚げの美味さに感激しました。サワーやカクテル類も多くそろっており、女性にも人気のお店です。人気店なので、予約してからが宜しいと思います。

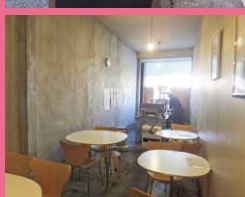


マツコさんの
番組でも
取り上げられた
日本一の
かき氷です。

寿氷

住 真岡市荒町5161 **営** 日によって変わります **休** 不定休

日本一のイチゴの産地「真岡のとちひめ」を使ったかき氷。すべて、オーダーを受けてから果実をカットしシロップを完成させます。その味はまるでイチゴをそのまま食べているかのようなおいしさ!!



雰囲気も
コスバも
最高です！

大人気!!
pinoプレート
1,180円
自家製パンサンド
オープンオムレツ
サラダ・スープ
デザート・ドリンク



pino cafe & meal

住 那須郡那須町高久甲5109-10 **営** 8:00~16:30 (L.O 16:00)
TEL 0287-74-5726
休 日曜日
HP <http://www.pinonasu.com>



那須ICの近く那須街道沿い赤松林の木々の中、白を基調としたお店は、ご夫婦で内外装をDIYされています。素敵で可愛い店内で、モーニング、ランチ、カフェが楽しめます。毎朝焼き立ての美味しいパンが味わえます。朝8:00からのモーニングタイムは那須では珍しく、ほかほかの焼き立てパンとコーヒーで素敵な朝のひとつときを。



栃建協
薄井土木さん
のお店です！

マルホ建設(株) 星豪紀さん

M's Beauty cafe

住 那須塩原市大原岡177 **営** 11:00~20:00
TEL 080-2583-3939 **休** 日曜日・月曜日



体の中から健康と美容に特化した素敵なcaféです。看板メニューのスムージーは使用する野菜や果物のひとつひとつに地場産、有機栽培、オーガニックとこだわりの食材によって作られています。そこに免疫効果向上機能があるといわれる酵素を含み、甘酒や豆乳をベースにした3種類のスムージーが楽しめます。また、水素水を使用したハーブティーや自家焙煎のコーヒーと全てが体の中から健康になるメニューばかりです。また、濃度30%の酸素カプセルも1人用と4人用ボックスの2台を完備しております。客席も23席とゆったりとしたスペースで、口に運ぶモノ、触れるモノ全てが健康と美容に溢れております。栃木県建設業協会会員の薄井土木さんがオーナーのお店です。隣にエステも併設されており、自分自身へのご褒美に、また大切な人と訪れてほしいお店です。



オリジナル
ブレンド
コーヒーを
是非！

自家焙煎珈琲 コトリ

住 大田原市中田原636-1 **営** 10:00~18:00
TEL 0287-48-7980 **休** 木曜日・月末の水曜日
HP <http://shop.cotoricoffee.jp/>



大田原市のちょっと郊外にある煙突が目印の本当に隠れ家的なcaféです。メニューを見て最初に取り扱いのコーヒー豆の豊富さに驚くことと思います。その全ての豆を店内で自家焙煎しており、オーダー毎に一杯一杯をドリップして提供してくれます。コーヒーを目の前に不思議なほど落ち着く店内にいますと、時間の経過を忘れてしまう贅沢な時間となることでしょう。また、豊富なコーヒー豆を自分の好みにブレンドしてオリジナルブレンドコーヒーを作ることでも可能で、会社としてのオリジナルブレンドを作成して来客に提供している会社も大田原には多くあります。勿論個人でのオーダーも可能ですので、自分の理想の一杯を作り上げてプレゼントするのも喜ばれることでしょう。今年4年目を迎える大田原の隠れ家的なcaféであなたの理想の一杯に出会えるかもしれません。